

職場における女性活躍推進事業【福島県】

個別事業費	13,031千円
交付金額	4,000千円

地域の実情と課題

本県では、女性の県外流出や少子高齢化の進展に加え、震災後の人口流出により労働力不足が顕著である。このような中「ふくしま女性活躍応援会議」と連携しながら、女性が活躍できる環境づくりを進めている。しかしながら、女性活躍推進の必要性・有用性への理解は十分とはいえず、地域・職場・家庭において、未だに固定的な男女の役割分担意識が根強く残り、男性の家事・育児への参画促進など、まだまだ解決すべき課題がある。

事業の特徴

働く女性を対象に、県内の他企業で働く先輩女性から経験談を聞くこと等によりキャリアアップを目指すきっかけとしてもらうためのセミナーを開催。
また、女性のキャリアアップ等に関する悩みや不安について相談できる窓口を設置。
さらに、企業の総務担当者等を対象に、働き方改革や女性活躍を進めるための課題の発見・分析、各層への説明・説得方法などに必要なノウハウ、スキルを実践的に学ぶセミナーを開催。

事業の効果

働く女性が管理職を目指すための意識の醸成と、企業の枠を超えた幅広い業種間の交流により、女性が昇進する際の悩み相談や昇進後の情報交換などができるネットワークづくりにつながった。
また、女性のキャリアアップ等に関する個別相談支援窓口を設置し、悩みや不安の解消を図った。
さらに、企業の総務担当者等を対象としたセミナーにより、社内推進体制の強化に向けた支援を行った。

イクボス宣言企業数:891(実績)

目的・目標

労働人口が減少する中、女性活躍推進は必要不可欠であり、女性が活躍できる職場づくりを進めるため女性管理職の登用を促すとともに、企業担当者等の意識啓発を行い、仕事と生活の調和がとれた働きやすい職場環境づくりを推進する。

イクボス宣言企業数:820(目標)

連携団体

「ふくしま女性活躍応援会議」の構成団体となっている福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県経営者協会連合会等の経済団体や、「福島県魅力ある職場づくり推進協議会」の構成団体である福島県銀行協会、福島県信用金庫協会等の金融団体、ほか日本労働組合総連合会福島県連合会や厚生労働省福島労働局など

今後の課題

引き続き、セミナー等により働く女性のキャリアアップの意識を高めるとともに、企業の総務担当者のスキルを向上させ、現場で取組を進める事務局機能を強化させていく必要がある。併せて企業の女性活躍と働き方改革(男性育児休業取得等)に関する支援策について周知を強化して企業の取組を後押ししていく。

事業の概要

職場における女性活躍推進事業

(1)働く女性のキャリアアップ支援セミナー

働く女性を対象に、県内の他企業で働く先輩女性から経験談を聞くこと等によりキャリアアップを目指すきっかけとしてもらうためのセミナーを開催した。

※対面・オンラインのハイブリッド開催

- ①郡山会場9/26 参加者28名
- ②いわき会場10/10 参加者20名
- ③会津会場11/13 参加者27名



セミナーの様子

(2)キャリアアップ個別相談支援窓口

女性のキャリアアップに関する悩みや不安について、専門的な知識を有する相談員に電話やメールで相談し、アドバイスを受けることができる相談窓口を設置した。

窓口設置 4月～3月 相談者延べ81名



(3)企業内担当者育成ワーク・ライフ・バランス推進塾

企業の総務担当者等を対象に、グループワーク等を通して社内で働き方改革や女性活躍を進めるための課題の発見・分析、各層への説明・説得方法などに必要なノウハウ、スキルを実践的に学び、社内の推進体制機能を強化するためのセミナーを行った。

※3回連続開催

- 開催日:10/22 11/18 1/16
- 場所:ビッグパレットふくしま
- 参加者:延べ19名



セミナーの様子